

## 再度ご紹介 - ビラーンの織物 ナバル・タビ -

前号で、Nabal Tabih をマバル・タビと間違えてご紹介しました。お詫びして訂正させていただきます。今回はそのデザインをご紹介します。

かつてマトン山周辺にはワニが生息しており、ワニをモチーフにしたデザインが多いそうです。ポロモロック町 Amgu-o でビラーン民族の青年たちが組織した Bolul Amtutung 多目的組合が、民族のアイデンティティの一つとしてその保存継承に力を入れています。前号で紹介したサンダワさんほか7名が織っています。

事務局に2点在庫があります。詳細はお問い合わせ下さい。



## イベント報告

### 市民活動フェア(3月18,19日)

神奈川県内の市民団体や高校生のグループ合計84団体が参加したフェア。HANDS は「手作りの温かさでミンダオを伝えたい」というテーマで出店しました。チボリやビラーンの織物と手工芸品はおとずれた方の興味を引きつけ、足を止める方多数でした！(写真右)



### KAFIN 横浜設立記念イベント(4月23日)

在日フィリピン人女性の自助組織 KAFIN の横浜支部設立を祝って関係5団体が新横浜に集まりました。ミンダナオでの活動が中心の HANDS ですが、元奨学生の一人名はすでに日本で働いています。緩やかな連携の中で必要に応じて KAFIN とも協力できたらと思います。

## 社員総会のお知らせ

\* 日時:5月21日(日)14:00-16:00

\* 場所:SCAT セミナールーム(新宿区天神町63 神楽坂メゾン 2F) TEL:03-3269-8296  
東京メトロ東西線神楽坂駅下車・出口2 徒歩4分

\* 主な議題:① 平成17年度事業報告書、収支計算書及び18年度事業計画書・収支予算案の審議・承認  
② 役員承認 ③ 現地駐在事務所設置について ④ 10年記念イベントについて など

社員会員は同封の案内をご覧ください。賛助会員の皆様もオブザーバーでご参加下さい(詳細は事務局まで)

< 例会 > 毎月第4木曜日:5/25, 6/22, 7/27(13:00~) 休会等、急な変更もあります。念のため予めご連絡下さい。  
会場:青葉区市民交流センター・フリースペース(東急田園都市線田奈駅隣)

## < 感謝 >

\*ご寄附ありがとうございました(06.1.29~06.4.28)

社員会員、賛助会員の皆様には、会費及び定期支援に加えて各種ご寄附をありがとうございました。ここでは随時ご協力の賛助会員・一般市民のご寄附(物品、使用済切手も)についてのみお名前を紹介させていただきます。(敬称略)  
関行宏、山崎アヤ、かつすずみこ、中村理美、坂口明子、阿部勝子、本宿晃、東島尚久、今泉明久、近隣郵便局利用者

## < 事務局日誌より >

2/15/、4/10 フィリピンに関わる NGO 関係者の集い(玉置・山崎) 2/18 東京ウイメンズクラブ・パッチワークにハデ イクラフト委託(服部・山崎) 2/28 レイテ島被災者へ義援金(AMDA 経由) 3/6 リサイクル店に寄附物品委託(柳澤) 3/10 COWHED からハデ イクラフト入荷(DHL) 3/16 市民活動フェア準備(柳澤、丸尾) 3/18-19 市民活動フェア(柳澤、玉置、高井、山崎) 3/18 草の援助ネット15周年イベント参加(山崎) 4/2 理事会(高屋・鈴木・玉置・山崎・オブザーバー今泉) 4/6 役員改選案内葉書発送(柳澤・山崎) 4/23 KAFIN 横浜設立イベント(相田・山崎) 4/27 例会・会報準備(柳澤・中森・山崎)

## < 会員情報 >

(06.1.29~06.4.28)

\* 新入会員:S-167 久保田(神奈川) S-168 山下(神奈川) S-169 中森(神奈川) S-170 若林(神奈川)

\* 会員資格変更:S-122→R-S-057 山口 132→R-058 小山 \*社員会員1名(R-043)から退会届けをいただきました。長い間ご協力ありがとうございました。  
<会員数> 社員会員:54名 賛助会員:156名

## < 会員募集 >

医療や自立事業支援会費:	月額 1,000 円 (年 12,000 円)
教育全体支援会費 (又は小学生奨学金・給食支援):	月額 500 円 (年 6,000 円)
ハイスクール生徒奨学金支援会費:	月額 1,500 円 (年 18,000 円)
カレッジ学生の奨学金支援会費:	月額 3,000 円 (年 36,000 円)
あしなが奨学金(ブラクール対象)会費:	月額 2,500 円 (年 30,000 円)

—社員(会費500円プラス)として運営にご参加いただける方は別途お申し出ください—

## < 編集後記 >

現地駐在事務所ができることで、ニュースレターのさらなる充実が図れます。しかし残念ながら誌面には限界あり。ホームページの拡充を検討中です。アクセスしてみてくださいね!(九島)